

## 事前評価個表

整理番号	14
------	----

地域（地区）名	みなみいせ 南伊勢	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	三重県	対象市町村	まつさか 松阪市ほか 10 市町
事業実施期間	R6 年度～R10 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は三重県の中央部に位置し、その面積は 228 千 ha と県土面積の 39.4%を占めている。本地区を構成する市町は 4 市 7 町で、北は北伊勢森林計画区の津市に、西は台高山脈を隔てて奈良県に、南西は台高山脈の支脈を境に尾鷲熊野森林計画区の紀北町にそれぞれ接し、南東は熊野灘に、北東から東にかけては伊勢湾に面している。また、大規模マーケットである大阪、名古屋から直線距離で 100km 前後の位置にある。</p> <p>事業の対象となる民有林の面積は 157 千 ha、そのうち人工林は 90 千 ha となっている。人工林の齢級構成は 12 齢級をピークとし、11 齢級以上の林分が 73.7%を占め、森林資源は充実しているものの偏った齢級構成となっており、増大する資源の活用と適正な管理が必要となっている。</p> <p>しかしながら、山村地域の過疎化や林業就業者の高齢化、木材価格の低迷、経営コストの増大等と林業経営を取り巻く環境は厳しく、適正な管理がなされない森林が増加し、水源涵養や山地保全等といった森林の有する公益的機能の発揮に支障を及ぼすことが懸念されている。</p> <p>本事業は、森林の有する公益的機能の維持増進のための人工造林や獣害防護柵の設置、間伐等の森林整備と併せ、これらに効率的な実施及び木材の安定供給の確保に資する路網整備を実施するものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,041ha 人工造林、下刈、除伐、枝打ち、間伐、森林作業道整備等</p> <p>路網整備：1,297m 林道開設</p> <p>総事業費：3,673,128 千円（税抜き 3,339,207 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=3.45</p> <p>（総便益（B）=16,137,637 千円、総費用（C）=4,678,405 千円）</p>
評価結果	<p>必要性： 森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるためには、人工造林や間伐等の適切な森林整備が不可欠であるため、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 路網の整備により効率的かつ効果的な森林整備を推進することとしており、費用対効果分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 適切な森林整備及び路網整備を行うことで、水源涵養や山地保全、木材の安定供給等の森林の有する多面的機能の維持増進が図られることが期待されるため、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

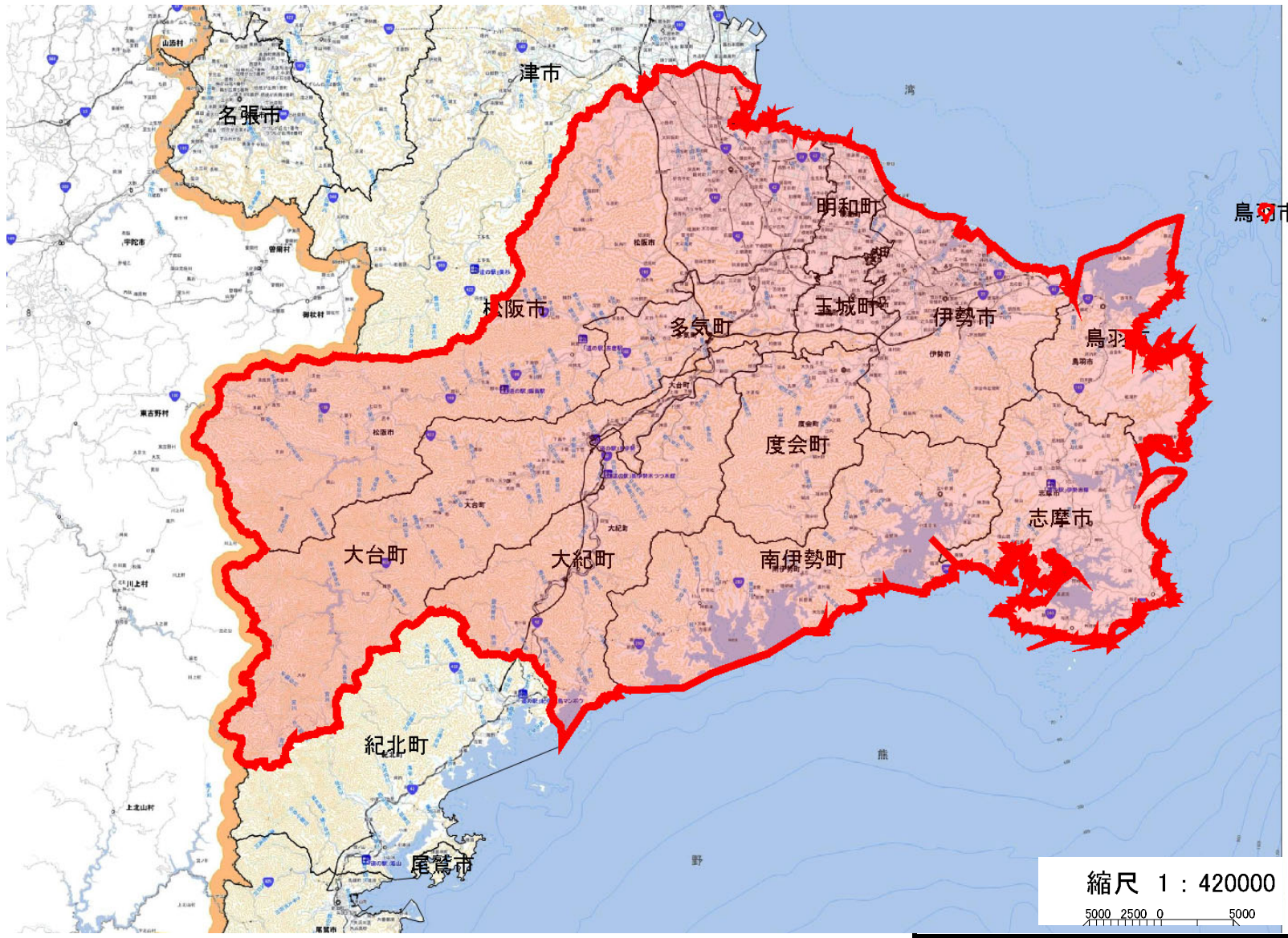
都道府県名：三重県

地域(地区)名：南伊勢

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,733,097	
	流域貯水便益	668,825	
	水質浄化便益	2,619,173	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,812,086	
環境保全便益	炭素固定便益	1,064,986	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	17,670	
	木材利用増進便益	27,226	
	木材生産確保・増進便益	2,603,442	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	3,166	
	森林整備促進便益	4,587,966	
総 便 益 (B)		16,137,637	
総 費 用 (C)		4,678,405	
費用便益比	$B \div C = \frac{16,137,637}{4,678,405} = 3.45$		

# 森林環境保全整備事業 南伊勢地域(三重県)



縮尺 1 : 420000  
5000 2500 0 5000

凡例	
計画区域界、事業区域	
市町村界	

